

【基本計画素案】前回の審議会からの主な変更点

(全体)

新ページ 番号	前回の審議会での提示内容	今回の提示内容	背景・理由
全体 P7, 35, 53, 63, 73, 87	—	基本目標ごとに、「個別目標」と「個別目標の方向性」の一覧を追加しました。	「個別目標」とそれに紐づく「個別目標の方向性」の関連性を分かりやすくするため、追記しました。
全体	—	特に関連する SDGs 目標の見直し	整合が取れていない部分がありましたので、全体的な見直しを行いました。
全体	—	「想定される公民の役割」欄の（再掲）にページ数を追記しました。	施策間の関連性が分かるように、追記しました。

(個別目標の方向性)

新ページ 番号	前回の審議会での提示内容	今回の提示内容	背景・理由
P54	空き家を適正に管理するとともに、建築物の安全性を確保する	空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、 <u>良好な住環境の創出を進める</u>	全般的な住環境の視点を追記しました。
P88	当事者意識の醸成とともに、さまざまな主体が力を発揮し、協力しあえる環境づくりを進める	当事者意識の醸成とともに、 <u>様々な主体が力を発揮し、協働・連携で きる環境づくりを進める</u>	各主体による協働と連携が大切なため、記載しました。

【基本計画素案】 前回の審議会からの主な変更点

(現状と課題)

新ページ 番号	前回の審議会での提示内容	今回の提示内容	背景・理由
P8	乳幼児死亡率がやや高い傾向にあります。	乳児死亡率がやや高い傾向にあります。	直近の令和2年のデータでも、乳幼児の中でも0歳の死亡数が多いこと、また、岸和田市保健計画ウエルエージング岸和田2次計画・岸和田市食育推進計画においても記載されていることから変更しました。
P12	乳幼児期から学童期にかけては、健康な生活習慣の基盤が形成される時期であり、「きちんと食べ、よく遊び、よく学び元気にのびのび育つ」環境を整えることが子どもの発育を促すことにつながります。 毎日、朝食を食べる児童・生徒の割合は、減少傾向にあり、適切な食習慣の理解促進が必要です。	乳幼児期は、「 <u>基本的な生活習慣を身につけ</u> 」、学童・思春期は、「 <u>きちんと食べ、よく遊び、よく学び元気にのびのび育つ</u> 」環境を整えることが、子どもの発育や成長を促すことにつながります。 毎日、朝食を食べる児童・生徒の割合は、 <u>増加傾向にありますが、全国平均より低い</u> ため、引き続き、適切な食習慣の理解促進が必要です。	乳幼児期と学童・思春期では、健康な身体づくりの視点が異なるため、それぞれについて記載するようにしました。
P40	現代社会では、価値観の多様化が進んでおり、年齢や性別、国籍、障害の有無などの属性に関わらず、すべての人々がお互いを尊重しあいながら活躍できる、多様性を重視した社会のあり方が求められています。	年齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、すべての人々がお互いを認め合うことが大切です。 <u>一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される差別のない多様性を尊重した社会の実現が求められています。</u>	多様性の視点として、年齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、一人ひとりがかけがえのない存在として尊重されることを記載しました。
P48	—	超高齢社会の中、高齢者の介護を高齢者が行うという老々介護や、障害者の介護を高齢者が行う老障介護などへの支援のあり方が問われています。	今後さらに進む少子高齢者社会の中で重要になる、老々介護(80,50問題)、老障介護の課題を追記しました。
P74	—	本市には、農林水産業をはじめ、製造業、小売業など、様々な事業者が事業を行っています。	様々な業種の事業者、個人事業主の事業支援の視点から追記しました。
P76	本市では、都市近郊地であるというメリットを生かして農水産業が活発である一方、担い手の高齢化や後継者不足、異常気象等による生産量不足などの課題に直面しています。	本市は、 <u>海から山までの資源が豊かであるほか、都市近郊地であるという</u> メリットを生かして農水産業が活発である一方、担い手の高齢化や後継者不足、異常気象等による生産量不足などの課題に直面しています。	海から山までの豊富な資源について、本市の特徴を追記しました。

【基本計画素案】前回の審議会からの主な変更点

(想定される公民の役割)

新ページ 番号	前回の審議会での提示内容	今回の提示内容	背景・理由
P8	—	(行政) 母子の保護と自立のための支援を行う	DV などによる母子の保護についての役割を追記しました。
P30	(事業者・団体・地域など) 思いやりをもって障害者の社会参加を支援する	(事業者・団体・地域など) 思いやりをもって、 <u>合理的配慮を行うとともに、</u> 障害者の社会参加を支援する	合理的配慮の視点を追記しました。
P36	—	(事業者・団体・地域など) かかりつけの医療機関や薬局は、患者が普段から気軽に相談できる環境を整える (P. 37 再掲)	かかりつけ医が推進される環境づくりが大切なため、追記しました。
P38	(個人や家庭) まずはかかりつけ医に相談する	(個人や家庭) <u>かかりつけ医を持ち、</u> まずはかかりつけ医に相談する	かかりつけ医の推進を図るため、追記しました。
P46	(個人や家庭) ジェネリック医薬品(後発医薬品)などを積極的に利用する 軽度な不調は自分で手当てするなど、セルフメディケーションに取り組む	(個人や家庭) ジェネリック医薬品(後発医薬品)の利用やセルフメディケーションに取り組む	個人の判断を助長する表現は不適切なため、削除しました。
P46	(事業者・団体・地域など) ・医療機関や薬局は、ジェネリック医薬品(後発医薬品)などを推奨する ・事業者は、ジェネリック医薬品(後発医薬品)の研究開発やその支援をする	(事業者・団体・地域など) ・医療機関や薬局などは、 <u>適正な医療保険制度の運営に協力する</u> ・ <u>かかりつけの医療機関や薬局は、患者が普段から気軽に相談できる環境を整える (P. 37 再掲)</u>	ジェネリック医薬品(後発医薬品)の推進に関する文言の整理を行いました。

【基本計画素案】前回の審議会からの主な変更点

P54	—	(行政) 良好な住環境の創出を促進する	建物の安全性に加え、全般的な良好な住環境の創出が必要なため、追記しました。
P66	(行政) 単独浄化槽から合併浄化槽への転換や汚水を適切に処理するなど水質汚濁を防止するとともに、下水道整備を進める	(行政) 下水道整備を進めるとともに、合併浄化槽への転換や下水道接続に関する支援を行うなど水質汚濁を防止する	公共下水道への接続を推進するため、下水道接続に関する支援を追記しました。
P82	(行政) 交通マナーを啓発する	(行政) —	交通マナーの啓発は、P54「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める」の行政の役割「交通ルールやマナー、交通安全意識の高揚と対策を図る」での役割となるため削除しました。

【基本計画素案】 前回の審議会からの主な変更点

(みんなでめざそう値)

新ページ 番号	前回の審議会での提示内容	今回の提示内容	背景・理由
P8	5歳未満児の死亡率	乳児死亡率	直近の令和2年のデータでも、乳幼児の中でも0歳の死亡数が多いこと、また、岸和田市保健計画ウエルエージング岸和田2次計画・岸和田市食育推進計画において採用している指標であることから、「乳児死亡率」を候補としました。
P16	児童虐待相談のうち、親・児童の状況が安定し終結した割合	—	終結の定義が、必ずしも解決を意味しているわけではないため、削除しました。
P18	学力調査の全国平均点との差 学力調査における無回答率	全国学力学習状況調査における正答率40%以下の児童生徒の割合	課題の方向性を焦点化するため、「全国学力学習状況調査における正答率40%以下の児童生徒の割合」を候補としました。
P20	人口1人当たりの教育費の割合	人口1人当たりの教育費	教育費の割合は不適切であるため、費用としました。
P24	市立図書館の入館者数	市立図書館への登録率	図書館が書籍の貸出に留まらず、新たにコミュニティのつながりを創出する空間として、より多くの方に図書に触れ、利用いただくことをめざし、「図書館登録率」を候補としました。
P28	市内事業者の離職率に関する指標	労働環境に満足していると感じている市民の割合（市内従事者）	市内事業者の離職率の測定は困難であるため、市内従事者の労働環境の状況を測る「労働環境に満足していると感じている市民の割合（市内従事者）」を候補としました。
P32	企画展への参加者数 岸和田のまちを誇りに思う市民の割合	この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会があった市民の割合	企画展への参加者数は、成果（アウトカム）の視点よりも結果（アウトプット）の視点が強いため、また、誇りに思う市民の割合も郷土愛のみを対象とするのは限定的であるため、市民意識調査の項目を候補としました。
P36	要介護(支援)認定率	—	認定状況を把握する項目ではないため、削除しました。
P38	医療機関の救急搬送要請に対する受入割合	かかりつけ医を持っている市民の割合 軽症者（入院を必要としない）の救急車による搬送割合 市民病院の病床利用率 市民病院における経常収支比率	市民の健康管理に対する取組や医療機関の役割分担に対する理解について測定するため、「かかりつけ医を持っている市民の割合」を、また、救急車の適正利用が大きな課題であるため、候補としました。さらに市民病院の経営状況を測る指標を候補としました。

【基本計画素案】 前回の審議会からの主な変更点

P40	人権侵害の報告件数	人権研修（市民の集い、人権問題専門講座等）への参加者のうち、参加前後で意識が変わった人の割合	人権侵害の報告を全て把握することができないため、研修の効果を図る指標を候補としました。
P54	空き家率	空家等に対する指導等により改善した件数	空家率は、毎年度の評価指標としては、適していないと考えられるため、「空家等に対する指導等で改善した件数」を候補としました。
P58	災害の際の緊急避難場所がどこか知っている市民の割合	防災福祉コミュニティの数	自助の指標のみとなっていましたので、共助の体制の推進状況を把握する、「防災福祉コミュニティの数」を候補としました。
P66	「きれいな岸和田大作戦」への参加者数	この1年間に ごみ拾いや美化活動を行ったことがある市民の割合	全体での市民の美化活動の状況を把握するため、「この1年間に ごみ拾いや美化活動を行ったことがある市民の割合」を候補としました。
P68	—	市民1人当たりの都市公園面積	公園の整備状況を示す「市民1人当たりの都市公園面積」を候補としました。
P68	自然資料館の入館者数 自然資料館のイベントへの参加者数	自然資料館の内外で行われているイベント等への参加者数	自然資料館への入館者に加え、館外での活動も多いため、「自然資料館の内外で行われているイベント等への参加者数」を候補としました。
P70	太陽光を利用した住宅の割合	省エネルギーや再生可能エネルギーの活用を行っている市民の割合	太陽光発電に限らず、エネルギーの負荷軽減に対する市民の活動状況を把握するため、「省エネルギーや再生可能エネルギーの活用を行っている市民の割合」を候補としました。
P74	市内民営事業所における就業者数	付加価値額	事業所の状況を把握する指標として、「付加価値額」を候補としました。
P74	企業誘致の支援件数 新規創業の支援件数	創業支援者件数 新規創業件数	創業支援等事業計画の認定を鑑み、「創業支援者件数」を候補としました。
P82	—	市内鉄道駅（7駅）の1日平均乗車人員	拠点である市内鉄道駅の利用状況について把握するため、「市内鉄道駅（7駅）の1日平均乗車人員」を候補としました。
P82	路線バス等の人口カバー率	拠点へのアクセス性を図る指標 ※調整中	引き続き、指標の検討を行います。